A 6

正解は…

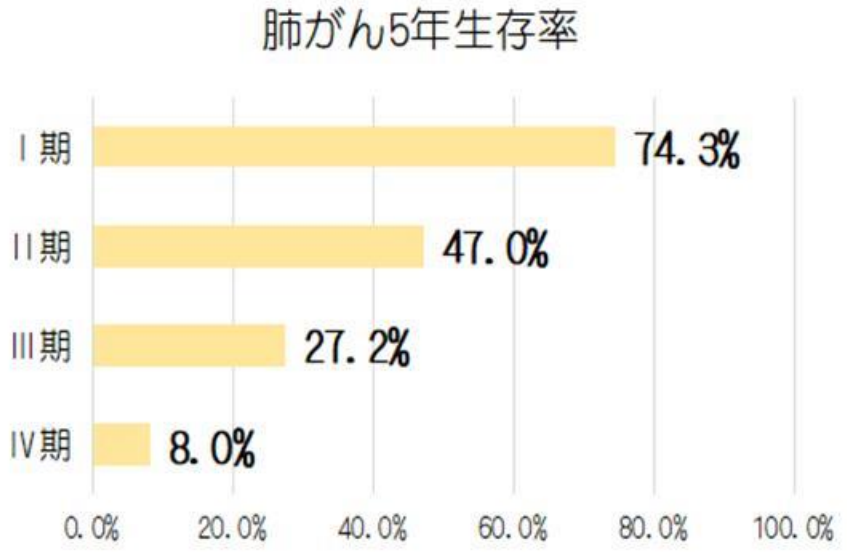


がんは、早期発見(そうきはっけん)・早期治療(そうきちりょう)をすることで、その後(ご)の
生存率(せいぞんりつ)は大(おお)きく異(こと)なります。
早期発見(そうきはっけん)・早期治療(そうきちりょう)が大切(たいせつ)です。
そのために、定期的(ていきてき)にがん検診(けんしん)を受診(じゅしん)しましょう！

がんを発見する時期でどのくらい生存率はちがうの？

～5大がんの生存率をみてみよう～

Ⅰ期（早期）で見つけると、生存率は70％以上ですが、
Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期とステージが進むごとに、生存率が低下しています。
早期発見・早期治療が大切なことが分かります。



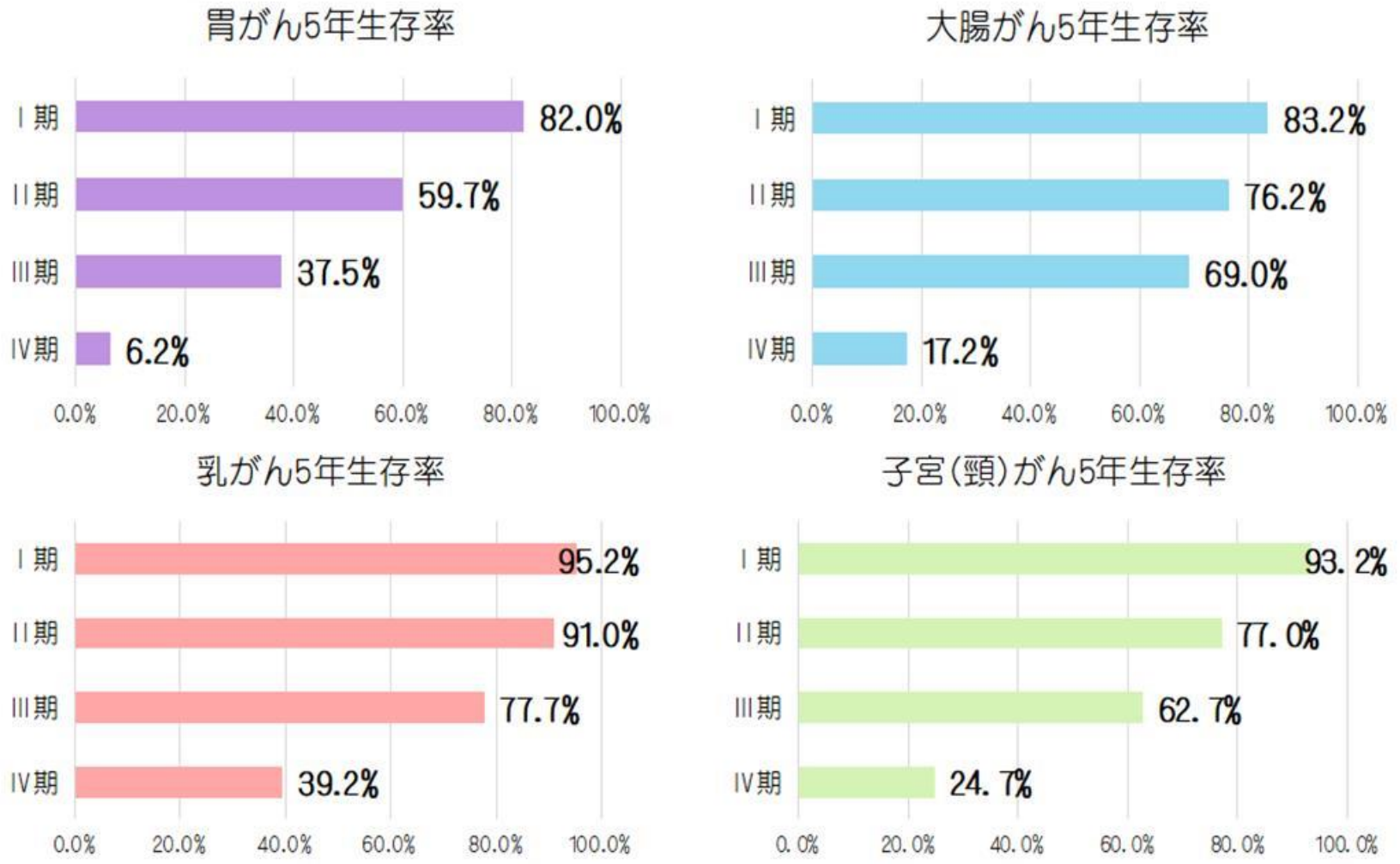
がんの生存率とは？

がんと診断されてから、一定期間が過ぎた時に生存している患者の割合のこと



出典：国立がん研究センター がん情報サービス

発見する時期でどのくらい生存率はちがうの？



出典：国立がん研究センター がん情報サービス